

震度7にビックリ!

本塩育成会 子どもに地震体験

万一の地震に備えて子どもたちに震度の体験をしてもらおうと、本塩子ども会育成会（千年淳子会長）は先月19日、市川消防局の協力を得て、上道公園で「地震体験」を実施しました。

当日は風もない小春日和に恵まれ、子ども会員や住民の他、公園で遊んでいた子どもら50人余りが参加して地震の怖さを身を持って体感しました。

午後1時半に体験車が公園に到着。消防局職員が子どもたちに「今日は最新鋭の車です。かなりリアルに揺れますので体験して下

さい」と説明。また「小学校での体験では、大きな揺れの時には『机の下に潜るよっ』に指導しています」と、避難方法も話しました。

今日の体験について、千年会長は「小学校で地震体験が行われた時に（児童数の関係で）何人かが体験できなかったとの事で、子どもたちに体験してもらいたいと育成会で消防局にお願いして実現しました」と、開催の趣旨を話しました。

体験車には、柱に時計が掛けられ、机と椅子がセットされた部屋に4人1組で乗り、大正12年（1923年）に発生した関東大震災や13年前の新潟中越、兵庫県南部で発生した震度7の地震の揺れを体験。子どもらは机にしがみついて揺れの怖さを体感しました。

徳田花歩さん（5年）は「とても揺れが強かった。実際に起きたら怖い」。千年莉子さん（6年）は「思っていたより（揺れが）強かった。座っている時に急に起きたらとても怖い」と、2人は地震の揺れを体験した事で発生した時の心構えと

対応を身に付けました。

この日の地震体験は大きな成果を上げました。



地震を体験した後、体験車の前に集合した子どもたち